

## 【 お買い物ごっこ 手順書 】

本手順書は、標準的な進め方を記載しております。

会場の広さ、人数、年齢、時間等によって、適宜アレンジしてください。

### ○ねらい

- ・ お金は大切な物であることを学ぶ。
- ・ 物とお金は交換されることを知る。
- ・ 限られた予算の中で必要な物を買うことを学ぶ。
- ・ 欲しい物をすべて手に入れることはできないことを知る。
- ・ お店屋やお客としての態度を学ぶ。
  - 「いらっしゃいませ」、「こんにちは、〇〇を△個ください」、「いくらですか」等言葉のやり取り。
  - お店屋は、お金をもらってから、お釣りと商品をお客へ渡す。

### ○準備物

#### 【依頼者様で準備】

- ・ テーブル
  - お店とその商品は、全て出す必要はありません。会場の広さや人数、年齢を勘案のうえ、適宜選択してください。

#### 【当委員会より送付】（衣装ケース 6 箱）

- ・ 商品
- ・ お店の看板
- ・ 買い物カゴ、お財布
- ・ 紙のお金（1,000円札、硬貨 500円～10円）
- ・ おこづかい帳



### ○全体の流れ

1. ルールを説明する。
2. お買い物 1 回目スタート。
  - Aグループ：お店屋、Bグループ：お買い物をする人
3. 商品を返却する。
4. お買い物 2 回目スタート。
  - Aグループ：お買い物をする人、Bグループ：お店屋
5. 商品を返却する。
6. ゲームを通じて気がついたことやわかったことを振り返り、学んだことをまとめる。

## ○ゲームの説明

### 【お買い物をする人】

1. お金が入ったお財布をカゴに入れて、お買い物を始める。
2. 時間いっぱいお買い物を楽しみ、お金が無くなった時点で終了する。
3. 購入した商品からおこづかい帳へ記入する。
4. 商品を返却する。
5. お店屋グループと交代する。

### 【お店屋】

1. 「いらっしゃいませ」、「野菜はいかがですか」等声をかけ、お客を呼び込む。
2. 商品が売れたら、お釣りがある場合は渡し、「ありがとうございました」、「またお越しください」等声をかける。
3. 返却された商品を陳列する。
4. お買い物グループと交代する。

### 【留意点】

1. グループ分け（お買い物をする人、お店屋）およびお店の担当者は、事前に決めておいてください。
2. お買い物をするにあたって、学年に合わせたテーマを与えることも有効です。  
【例】「遠足に行くのでお弁当の材料を買う」、「晩御飯の材料を買う」
3. お財布にお金を入れ、それをカゴの中に入れるところまで事前に準備しておいてください。
4. お財布に入れるお金の種類・金額は、学年に合わせて調整してください。  
【例】「1,000円1枚」、「500円2枚」、「100円5枚」
5. お店の担当者が小学校低学年以下でお釣りの計算が難しい場合、大人がサポートしてください。